



学校だより

高岡市立牧野小学校
令和5年度6月号

牧の野に

牧野 富太郎 博士

校長 片境 俊二

NHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルが、牧野富太郎博士だと知って、自分の学校名と同じという単純な理由で、久しぶりに朝ドラを録画し楽しみながら見ています。牧野博士は日本中の草花の名付け親になりたいと、絵と文で図鑑をつくり、「日本植物学の父」と呼ばれた人です。小学校の勉強に飽き足らず退学し、野山で植物を観察し独学で知識を蓄えます。20代で東京大の植物学教室に出入りするようになり、1500種類以上の植物に名前を付けました。富山県にも73歳の時に来て、老齢にも関わらず元気に立山周辺の坂をよじ登ったそうです。万葉集にも関心をもち、「タテヤマハギ」の歌を詠んだこともあり、伏木の万葉歴史博物館でも企画展が行われていました。草花をこよなく愛し、自分で名前を付けた花にほおずりしたり、花が枯れたら何度も探し求めたりしたそうです。一つの分野へ高い関心や能力をもち、家族や周囲の人の応援にも支えられながら徹底して研究し、大輪の花を咲かせた人なのでしょう。

そんな牧野博士は、数多くの言葉を残しています。「雑草という草はない」というのがその一つです。「どんな草にだって、ちゃんと名前が付いている。人間にもそれぞれ固有の名前がある。人を呼ぶ場合は、正しくきちんと呼んであげるのが礼儀というものじゃないかね。」と述べられました。好きな植物にとことん打ち込んだからこそそのうんちくで、奥の深さを感じさせてくれます。



「自然に対して何もしないうちは学べない。こちらから自然に働きかけてこそ学ぶことができる」植物が好きを貫いた博士ならではの思いです。自然という部分を自分がやりたいことや目標に置き換えてみたら、その言葉の意味が分かるのではないのでしょうか。本校が目指す主体性につながる気がします。

そして極めつけは、「人間は生きている間が花である。その間に、大いに勉強して身を修め、徳を積み、智を磨き、人のために尽くし、国のために努め、自分のために楽しみ、善人として一生を幸せに送ることは、人間として大いに意義がある」まさに、このように生き抜いた博士の人生は幸せだったろう、できれば自分も・・・とありがたいものです。



学校前のきれいなつつじ

そういえば「らんまん」というタイトルは、素直で飾りっ気がなく、無邪気な明るさ「天真爛漫（てんしんらんまん）」から付けられたそうで、牧野っ子もそんな「らんまんさ」を持ち続けながら成長して行ってほしいと願っています。「らんまん」のタイトルの由来を、秋田の名酒「爛漫」かなと思ったのは・・・私ぐらいでしょうか。

まっすぐに きれいに のびる 牧野っ子



←先生と仲よし
(5/23、1年)
学校中のいろいろな先生にお話しをして、サインしてもらいました。これからどうぞよろしくをお願いします。



←救命救急講習会
(5/29)
日赤富山県支部の方を講師にお迎えし、教職員が心肺蘇生法についての講習を受けました。

全校おにごっこ (5/31) →

運動隊の企画で、ロング昼休みの時間に行いました。最後には教師もおにごになって走り、楽しい一時でした。



親子自転車教室→ (6/3、4年親子活動)

自転車の安全な乗り方について学びました。最後にしっかりと安全宣言をしました。



←アルミ缶回収
環境美化隊の活動で毎週木曜日の朝に回収しています。SDGsの大切な活動の一つです。洗ってつぶして持ってきてくださいね。



←PTAあいさつ運動(6/5~7)

PTA役員の方々と元気よく挨拶を交わすことで、すがすがしい一日をスタートすることができました。

牧野っ子の声 5/18 田植え体験(5年)



- 最初は田植えに興味はなかったけど、一つ一つの苗にこんな苦勞と工夫、気持ちがこもっていることを知って、将来の仕事の選択しになりました。
- 暑い中、やさしく大きな声で植え方を教えてもらえて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。米作りの楽しさ、むずかしさをとてもたくさん見付けられました。お米の大切さをいっぱい知りました。
- 昔はたくさんの人で時間をかけてやっと米ができる。今は機械を使って米を作っている。今日体験して、昔のやり方は足が埋まりそうでベトベトしていてやりにくかったけど、今のやり方はすごく楽にできていました。

6/6 連合運動会(6年)



- 私は始まる間は不安だったけど、とても楽しかったです。理由は100m走が終わった後牧小のテントに戻ったら、みんなが「がんばったね」「いいねえ～」と言ってくれたからです。タッチをしてくれてとてもうれしかったです。運動会でたくさんのチャンスをつかめてよかったです。
- 102回の歴史と伝統のある連合運動会に参加できて、最後まであきらめず全力を出し切ることができてよかったです。他校の人たちと競い合う機会がなかったのでもんちょうしたけど、よい経験になりました。

6/7 ファーストコンサート(4年)



- 私は、指揮、打楽器、げん楽器、金かん楽器などの人たちが心、いきを合わせてえんそうしていたので、いいなあと思いました。一つ一つの楽器が、一つ一つの音色、音りょうが合ってすごいおもしろかったです。お母さんやお父さんにも自まんしたいくらいすてきなえんそうでした。
- ファーストコンサートのシンコペーデッド・クロックが好きでした。時計の音がして、と中で時計があばれている感じや、弦楽器の音がとても大きい感じがしました。コンサートにはまた行きたいなあと思いました。